

2022年6月2日

株主の皆様へ

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者 代表取締役社長 野崎 明
問合せ先 法務部 (03-3436-7704)

グラスルイスのレポートに対する当社の見解について

今般、議決権行使助言会社である Glass, Lewis & Co., LLC (以下「グラスルイス」といいます。) は、2022年6月24日開催予定の当社第97期定時株主総会議案についての分析および議決権行使推奨を2022年5月29日に公表いたしました。これに対する当社の見解について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. グラスルイスの見解

グラスルイスは、当社の監査役会の構成がグラスルイスの定める監査役会の独立性基準(独立社外監査役が過半数を占める)を満たさないことを理由に、第4号議案「監査役1名選任の件」の候補者である野沢剛志氏に対して反対推奨をしています。

2. 当社の見解 監査役候補者である野沢剛志氏に対する反対について

当社は、当社の監査役会の構成は、監査役会の独立性を担保しつつ、実効的かつ有効な監査を実施していくうえで最善の体制であると考えており、グラスルイスの指摘はあたらないと考えております。

当社は、会社法の定めに従い監査役の半数以上を独立した社外監査役とする一方、当社グループの事業や業務に精通した当社出身の監査役をも選任することにより、全体として実効的な監査が行われる体制を確保しております。すなわち、当社出身の常勤の監査役は社内の情報を的確かつタイムリーに収集し、これに基づき実効的な監査を実施する一方で、独立社外監査役は、様々な専門知識や多角的な視点を生かしつつ、当社の経営陣から独立した立場で監査を実施しており、これらの監査役が連携することにより、全体として、当社の監査の実効性や有効性と独立性を確保することができると考えております。また、当社は、監査役が計画的かつ効率よく監査を行うための体制を整えており、当社出身の監査役と独立した社外監査役が適切に連携しつつ厳正な監査を存分に行っていただいていると考えております。

以上